

令和4年(2023年)度年間授業計画表									
学年	2	科・系	全学科	単位	2	教科	理科	科目	化学基礎
使用教材	教科書: 高校化学基礎(実教出版) 副教材: 高校化学基礎カラーノート新課程版(実教出版)								
学習目標	① 理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うための技術や基本知識を身に着ける。 ② 観察、実験などを行い、人間生活と関連させて物質とその変化に対する興味、関心を高める。 ③ 物質とその変化を科学的に探究する態度や、そのために必要な資質・能力を育成する。								
単元と内容									
1 学期	序章 化学と人間生活 1章 物質の構成 1節 物質の探究 2節 物質の構成粒子 2章 物質と化学結合 1節 イオン結合 2節 共有結合 3節 金属結合			- 単体と化合物、粒子の熱運動と物質の三態変化との関係を理解する。 - 原子の構造と構成粒子の性質を理解する。 - 元素の周期律、及び原子の電子配置との関係について理解する。 - イオンの生成や共有結合について電子配置と関連付けて理解する。 - 各化学結合の成り立ちや、各結合でできた物質の性質を理解する。					
2 学期	3章 物質の変化 1節 物質量と化学反応式 2節 酸と塩基			- 物質量と粒子数、質量、気体の体積との関係について理解する。 - 化学反応式は関与する物質とその量的関係を表すことを理解する。 - 酸と塩基の性質、中和反応に関与する物質の量的関係を理解する。					
3 学期	3章 物質の変化 3節 酸化還元反応 終章 化学が拓く世界			- 酸化と還元が電子の授受によることを理解する。 - 酸化還元反応と日常生活や社会との関わりについて理解する。 - 化学基礎で学んだ事柄が、日常生活や社会を支えている科学技術と結び付いていることを理解する。					
評価									
評価の観点		評価の趣旨							
①	知識・技能	科学的に探究する方法を理解するとともに、身近な物質の探究に必要な基本操作を身に付けている。物質の分離・精製や元素の確認方法、状態変化を理解している。イオンの生成やイオン結合、共有結合、金属結合を電子配置と関連付けて理解している。物質量と化学反応式、その量的関係について理解している。酸・塩基と中和について理解している。酸化と還元について理解している。							
②	思考・判断・表現	身近な物質を探究する過程を通して、事象を科学的に考察している。また、導き出した考え方を的確に表現している。物質や化学反応における規則性や関係性を見いだして表現できる。観察、実験を行い、科学的に探究する力を身に付けている。							
③	主体的に学習に取り組む態度	身近な物質や化学反応について意欲的に理解しようとし、科学的な見方や考え方ができる。物質の探究に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。							
評価方法	①		②		③		年間時数		
							予定		
	○授業プリント ○定期テスト(年4回) ○小テスト ○実験レポート ○行動観察(授業態度)		○授業プリント(考察) ○定期テスト(年4回) ○実験レポート ○行動観察(授業態度)		○授業プリント(感想) ○実験レポート ○行動観察(授業態度)		70 時間		
							1単位=35H		
置賜農業 育てる能力		自己肯定感 主体性 生命 他者理解 協調性 知識技能 社会貢献							